

# 平成 30 年度から教養試験に 新しいタイプの試験 Light が加わります！

公益財団法人 日本人事試験研究センター



## Light はこのような場合におすすめです

- ・ 公務員試験に向けた準備がいらず、民間企業志望者も受験しやすい試験にして応募者を増やしたい
- ・ 人物重視だが、基礎的な知的能力は確認しておきたい
- ・ 専門試験を重視するので、教養試験は易しくしたい

	統一第1回	7月22日(日)
平成30年度 提供日	統一第2回	9月16日(日)
	統一第3回	10月14日(日)

# 新教養試験 Light

社会についての関心や基礎的・常識的な知識、職務遂行に必要な基礎的な言語能力・論理的思考力を測定する試験です。

出題数：60題

形式：四肢択一式

解答時間：75分

出題分野は次の3分野です。

「社会への関心と理解」 (24題)

「言語的な能力」 (18題)

「論理的な思考力」 (18題)



## 各出題分野の概要

### 「社会への関心と理解」

国内外の重要な出来事に関心を持っていれば解答できる内容で、政治や経済にとどまらず、ICT（情報通信技術）や環境問題など様々なニュースについての基本的な理解を問う問題を出題します。

また、地方公務員の採用試験であることを念頭におき、地方公共団体の制度や近年の課題、各地の産業等、地方に関する関心を問う問題も出題します。

### 「言語的な能力」

普段目にするような日本語の文章や語彙・用法の理解を問う問題、簡単な英文や英語の用法等の理解を問う問題など、言語的な能力をみる問題を出題します。

### 「論理的な思考力」

与えられた条件や資料などから論理的に考察することにより正答を導き出す問題など、論理的思考力をみる問題を出題します。



これまでに比べて  
**コンパクトで易しい試験**です

## 例題

### <社会への関心と理解>

〔問題〕 次の文中のア、イに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

地方公共団体全体で見ると、歳入に占める地方税の割合は  程度が続いている。2000 年代初め、小泉政権が「三位一体の改革」に着手して以降、  税源移譲が進められた。

- |    | ア       | イ           |
|----|---------|-------------|
| 1. | 30%～40% | 地方公共団体から国への |
| 2. | 30%～40% | 国から地方公共団体への |
| 3. | 70%～80% | 地方公共団体から国への |
| 4. | 70%～80% | 国から地方公共団体への |

解説 正答：2

地方公共団体の実態、国との関わりなど、地方公務員志望者として最低限身に付けておいてほしい知識を問うことをねらいとしています。

### <言語的な能力>

〔問題〕 次の文の要旨として最も妥当なのはどれか。

私の自慢料理を作るときは、火入れの途中に肉を指で押してみた感触が重要で、この感触はこれまで多くの人に直に伝えてきたが、誰にでもちゃんと伝わるわけではなかった。どうも何かしら楽器をやらない人にはこの感触がなかなか会得できないようだ。

1. 筆者の自慢料理を作るコツは、楽器をやる人には伝わりにくい。
2. 筆者の自慢料理を作るコツを教えても分からない人は、楽器もなかなか上達しない。
3. 筆者は楽器をやらない人には自慢料理を作るコツをちゃんと伝えてこなかった。
4. 楽器をやらない人には筆者の自慢料理を作るコツを把握するのが難しい。

解説 正答：4

文章中で提示された概念同士の関係を把握し、筆者が何を言おうとしているのかを的確に把握する力を問うことをねらいとしています。

### <論理的な思考力>

〔問題〕 A～D の 4 人に、赤、青、黄、緑の 4 色の中から 2 色ずつ選んでもらったところ、次のようであった。このとき正しく言えるのはどれか。

- ・ A は、緑を選んだが青は選ばなかった。
- ・ 赤を選んだ人、青を選んだ人は共に 2 人であった。
- ・ 緑を選んだ人は C を含めて 3 人いた。
- ・ 赤と黄の両方を選んだ人が 1 人だけいたが、それは D ではなかった。

1. A は黄を選んだ。
2. B は緑を選んだ。
3. C は赤を選んだ。
4. D は青を選んだ。

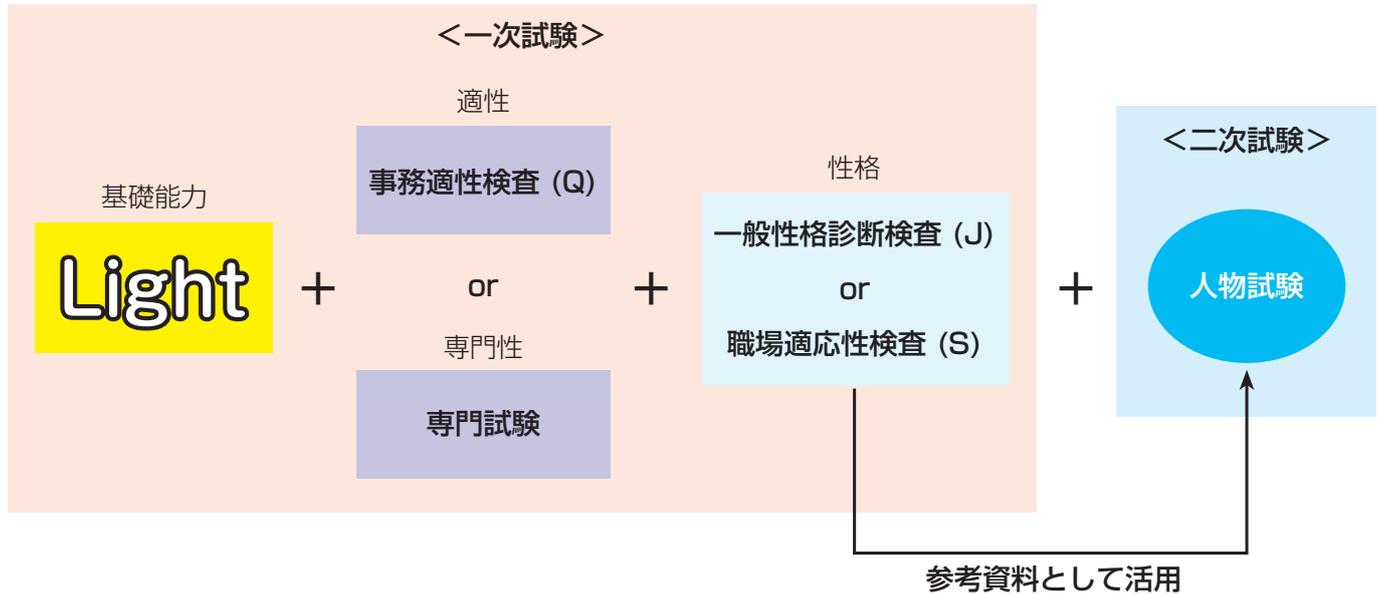
解説 正答：4

複数の情報の関係（ここでは人物と選んだ色との関係）を整理し、整理した情報から論理的に推論し判断する基礎的な能力を問うことをねらいとしています。

## ご利用に当たって

Light は基礎的な能力を検証するための試験ですので、専門試験や適性検査などと組み合わせてのご利用をおすすめします。

### ◇利用例◇



## 採点結果の表示

- ・採点は、全職種を「事務職」と「その他の職」の二つに分けて、それぞれの平均点及び標準偏差を用いて得点を算出します。
- ・合計の素点に加え、次のように3分野それぞれの素点を表示します。

得点	素点	分野別内訳		
		社会への関心と理解の分野	言語的な能力の分野	論理的な思考力の分野
70	47	18 / 24	14 / 18	15 / 18

- ・同一県内の受験者の平均点を参考情報として表示します。

## 申込み手続き、料金

- ・利用申込みは、これまでと同様、統一試験日の1か月前までに「試験実施計画書」を〈WEB登録又はFAX送信〉してください。申込み手続き等の詳細については、平成30年度の「試験問題ご利用案内」(平成30年2月頃配付予定)をご覧ください。
- ・部数料金は **1部800円** (税抜)\* です。

\* 統一試験日における割引料金

### ● お問い合わせ先 ●

公益財団法人 日本人事試験研究センター 事業部  
TEL 03-5363-9161 <http://www.njskc.or.jp>